

札幌創価幼稚園 園評価

平成28年9月15日

1、本園の教育目標

創価教育の理念のもと、「つよく ただしく のびのびと」をモットーに掲げ、「園児第一」を心に刻み、 1) 明るく丈夫な太陽の子(勇氣) 2) よく考えて行動する太陽の子(智恵) 3) 仲良く遊ぶ太陽の子(慈愛) の育成を教育目標として育成していく。
--

2、2015年度重点的に取り組んだ目標・計画

今年度は開園40年を迎えた。教育課程の基本理念を「世界市民として未来社会に貢献する人格の形成を目指す」と確認して出発。園児との豊かなかかわりに努め、教育活動を展開。安全・安心の教育環境を充実させていく。更に保護者の期待に応じる、学園創立50周年を志向するビジョンを作成していく。具体的には、次の6点を掲げる。 1) 創立精神を心に刻む幼児教育の実践 2) 世界に開かれた心を育む幼児教育の実践 3) 豊かな人格の基礎を育む学級経営・園運営の実践 4) 園児の安全を守る教育・施設設備の充実 5) 3年保育諸準備推進と研究・研修体制の充実 6) 家庭との連携・育児支援・卒園生支援・広報活動の充実

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1) 創立精神を心に刻む幼児教育の実践	・創立者のメッセージ学習を展開し、具体化を実践。特に絵本・物語から広がる保育を全学級で年間継続し、園児に豊かな心を育む取り組みを充実させた。またオペレッタや創立者著作の童話への取り組み、学園3大行事記念週間の取り組みを通し園児の心に「つよく ただしく のびのびと」のモットーが育成された。
2) 世界に開かれた心を育む幼児教育の実践	・海外姉妹園とのカード交流、偉人を柱としたグローバルタイムの推進で世界に触れる機会を充実させた。また、園児に親しみやすいキャラクターを登場させ、自然農園での野菜栽培と運動し食育を展開。高齢者施設への訪問交流は秋に実施し園児の心情を豊かにできた。木のプール拡充、室内砂「まほうのすな」遊びで豊かな遊び環境を充実させた。
3) 豊かな人格の基礎を育む学級経営・園運営の実践	・園児の作品や目標を分かりやすく掲示し、絵本に親しめる環境がより整えられた。日案を軸とした個別記録と教員間の連携により園児理解が図られた。支援の必要な園児へのかかわりの研修を、区幼児教育支援員を月例で迎えて充実させた。行事全般への要支援児の取り組みについて更に追究していきたい。
4) 園児の安全を守る教育・施設設備の充実	・安全教室(交通・防犯・バス乗車)の充実と共に月例で着実な避難訓練を実施できた。冬季保育室乾燥状況の改善や園児避難経路の確保、全教職員で嘔吐処理研修等に努めた。また、「れんらくアプリ」導入により保護者との双方向連携機能が各段と向上した。3歳児にも対応出来るより安全な屋外遊具等の環境整備推進が努めたい。
5) 3年保育諸準備推進と研究・研修体制の充実	・3年保育開始を視野に札幌私幼教研大会の公開園を視察し運動会も他園参観を実施。新生活時間帯と教育課程、行事体制案を作成。絵本を軸とした豊かな心の育成に全教員で取り組んだ。また、発達支援への園内外での研修、若手教員研修を充実させた。絵本・お話会研修、食育研修に、更に取り組みたい。
6) 家庭との連携・育児支援・卒園生支援・広報活動の充実	・保育参観や教育講座等の来園行事を通じて教育方針への理解を深められた。卒園生大会では東京学園長を講師に保護者・卒園生に豊かな啓発の機会となった。家庭訪問・個人面談等と共に、全保護者対象に保育内容全般に関するアンケートを実施。新入園保護者に入園前意識調査も行い、保護者のニーズの掌握と対応に取り組めた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

絵本・物語から広がる保育で豊かな心を育み、世界市民の育成を目指しての取組みを充実させてきた。豊かな保育、的を得た効率の良い学級・学年・行事・園運営を目指して、PDCAの柱として日々の保育振り返り時間(マイタイム)を実施し、週日記録作成に取り組んできた1年間であった。3年保育開始への具体的なビジョン、教育課程、行事設定、保育環境検討等を推進してきた。

今後とも保護者のニーズを掌握すべく保護者アンケートを継続実施すると共に、保育活動全般の取組みをより安全・安心に、そして、より充実させていきたい。また、教職員の資質の向上を期すと共に、健康・安全・安心面の職場環境向上に努めていきたい。

5. 今後の取り組むべき課題

課題・目標	具体的な取り組み方法
創価教育における3年保育・異年齢保育の推進	・待望の3歳児教育・3年保育の開始となる。・週案、保育ミーティング、年少級を重点とした研究保育、園内研修、また、他園での保育実践に学び、活発な意見交換を推進する。また、3学年の教育課程を螺旋的に豊かに組み上げ、同年齢・異年齢の繋がりを大切にしたい幼児期の創価教育のあり方を検証していく。
共通時間帯に即応した教育内容充実と精選の推進	・全級に2段階の在園時間帯がある共通時間帯が開始となる。学級横断や異年齢保育「なかよしタイム」を実施の中で、環境設定や安全施策を積み上げていく。月例作業と共に長期休業中の集中作業を通し、教育課程の検証・修正を推進する。精選に当たっては遊びの充実を図るための精選との視点を大切にしたい。
食育の推進・子育て支援・広報の充実	・「たいようのこだより」を軸に食育・運動・健康・安全について家庭との連携を豊かにし、健やかな保育の更なる充実を図る。また、新入園児保護者アンケート2年目、年度末全保護者アンケート3年目を継続的に実施すると共に、魅力ある教育講座「おはなし会」の開催と共に、日常的な幼児教育相談を充実させていく。また、園外広報として「創価幼稚園の先生とあそぼう!」を実施する。
園児の安全守る施設設備・態勢の充実	・園児の安全・健康管理、災害時の緊急対応態勢をマニュアル充実、教職員による実地研修の充実を図る。特に冬季バス運行の更なる安全性向上の具体案を探る。また、3歳児に適応した屋外遊具の検討、現遊具の安全度増加に具体的に取り組む。更に、常勤警備員と連動し、不審者対応等の危機管理態勢の充実を進める。また、継続的な他園の園舎・保育見学を推進する。
個別支援教育の研鑽と態勢の充実	・各種研修会へ多くの教員参加を推進すると共に、訪問幼児教育支援員との見取り研修を充実させ、具体事例の中で関わり方のスキルアップを図る。個別の指導計画作成を充実させ、具体的継続的な記録や複数教員支援による適切な対応に努力し、ケースカンファレンスを実施する。また、丁寧な保護者理解を前提に支援機関との連携を推進していく。

6. 学校関係者評価〔宝珠会(地域支援する会)役員、愛園会(保護者会)役員、創陽会(卒園生)役員等の皆様〕

特に指摘する事項もなく、適切であると認められる。3年保育開始への賛同、就園前教室・預かり保育の更なる充実への期待が寄せられた。

7. 財務状況

5月度 評議員会・理事会により、適切であると認められる。

8. 第三者評価〔弁護士、幼児教育専攻大学教員、公立小学校管理職、地域民生委員児童委員の皆様〕

特に指摘する事項もなく、適切であると認められる。人間性豊かな幼児教育や3年保育への取組みの一層の充実、子育て支援・幼小連携へ更なる期待が寄せられた。